

「鮑の輝」摂取による目の諸症状の改善効果

(株)シンギー 李 宝珠、福井喜代志

はじめに

「鮑の輝(あわびのかがやき)」は、鮑によって目に輝きをもたらすものとして(株)シンギーが開発した健康食品である。その主成分は、漢方において石決明として目の疾患に処方されている鮑の貝殻と鮑の肉である。副成分として、漢方で目の疾患に処方されている女貞葉、白菊花、枸杞子、決明子を、また漢方で目の疾患と密接に関与すると考えられている肝臓、腎臓を正常に保つために処方される真珠粉、丹參葉、山茱萸、田七人參をも配合し、「鮑の輝」を摂取することにより、目の症状が改善されることを願って製品の開発を行った。消費者の摂取による状況を調査するために商品に同封したアンケート葉書の回収から、期待したように、多くの喜びの声を聞くことができています。

2008年1月から10月の間に336通のアンケート葉書が回収された。同一人からの重複回答を1件とすると、回答数は269件であった。そのうち、134名に摂取により何らかの症状の改善が認められた(表1)。症状に変化のなかった人32名、症状が悪化した人1名、未記入102名であった。未記入を除いた改善率は80.2%であった。主な摂取目的(診断名、重複する場合それぞれで集計)別における改善率は、緑内障で83.9%、白内障で76.8%、飛蚊症で79.2%、その他の



「鮑の輝」

目の症状で83.3%であった。このような良好な集計結果から、その詳細を調査するため、269名を対象に再度アンケート調査を行った。

1. アンケート調査の内容

調査は、大きく分けて摂取者の背景、摂取による症状の変化および安全性について行った。

摂取者の背景としては、性別、年齢、摂取期間、摂取目的(診断名)、処方薬等を調査した。摂取による症状の変化としては、自覚症状(目が疲れる、目が痛む、目がかすむ、涙が出る、目が赤くなる、目が乾く、物がちらついて見える、物が二重に見える、肩・腰がこる、イライラする、頭が重い、頭が痛い、眠りの深さ)、視力、眼圧等を調査した。安全性としては、肝機能(総ビリルビン、GOT、GPT、 γ -GTP、ALP、LDH)、腎機能(尿素窒素、クレアチニン、尿酸、カルシウム、カリウム、糖定性、タンパク定性)等を調査した。

2. アンケート調査の結果

2008年10月31日にアンケート用紙を郵送し、11月10日までに82件の回答を得た。そのうち、効果がまだ発揮されない期間と考えている2カ月未満の回答

表1 「鮑の輝」摂取による効果(アンケート葉書の集計)

摂取目的(診断名)	体	効果			計	
		改善(%)	不変(%)	悪化(%)		
全	134	(80.2)	32(19.2)	1(0.6)	102	269
眼科領域	緑内障	47(83.9)	9(16.1)	0(0.0)	32	88
	白内障	43(76.8)	13(23.2)	0(0.0)	34	90
	飛蚊症	19(79.2)	5(20.8)	0(0.0)	8	32
	高眼圧	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	2	4
	網膜剥離	2(40.0)	2(40.0)	1(20.0)	1	6
	黄斑変性症	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0	2
	目の症状	30(83.3)	6(16.7)	0(0.0)	14	50
他領域	高血圧	2(66.7)	1(33.3)	0(0.0)	2	5
	耳鳴り	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	3	5
	不明	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	14	14

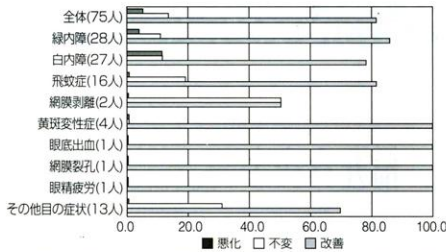


図1 「鮑の輝」摂取による効果(アンケート調査結果)

を除いた76件について、以下検討を加えた。

① 摂取者背景

回答76件のうち、男性は35名(40から86歳、平均63.7歳)、女性は41名(36から93歳、平均64.9歳)であった。

② 摂取効果

回答76件のうち、何らかの症状の改善が認められた人は61名であった。症状に変化のなかった人は10名、悪化した人は4名、未記入は1名であった。未記入を除いた改善率は、81.3%であった。また、主な摂取目的別の改善率は、図1に示すように、緑内障で85.7%、白内障で77.8%、飛蚊症で81.3%であり、アンケート本書での結果がほぼ再現される結果であった。

緑内障、白内障および飛蚊症における自覚症状の

変化を全体の結果とともに、表2に示した。全体として目が疲れる、目がかすむ、目が痛む、目が乾くなどの自覚症状において改善が認められている。緑内障では、目が疲れる、目が痛む、目がかすむ、目が赤くなるなどの自覚症状が、白内障では目がかすむ、目が疲れるなどの自覚症状が、飛蚊症では目が疲れる、目が乾く、目がかすむ、目が赤くなる、目が痛むなどの自覚症状が改善されていた。

このような自覚症状の改善だけでなく、表3に示すように、視力の向上5名(うち処方薬無1名)、眼圧の低下12名(うち処方薬無5名)と目の機能そのものにも改善効果が認められた。

③ 処方薬の影響

処方薬の有無による効果について、全体の集計結果とともに緑内障、白内障および飛蚊症の結果を表3に示した。また、眼科検査値(視力、眼圧)からの効果および安全性(肝機能、腎機能)についての結果も併せて示した。

摂取によって改善が認められた61名のうち、30名は薬が処方されており、31名は処方されていない。処方薬有の改善率は90.9%であり、処方薬無の改善率は73.8%であった。緑内障、白内障および飛蚊症における処方薬有の改善率は、それぞれ95.0%、81.8%および83.3%であった。一方、処方薬無の改善率は、それぞれ62.5%、75.0%および80.0%であ

表2 「鮑の輝」摂取による自覚症状への効果

摂取の目的(診断名)	全 体				緑 内 障				白 内 障				飛 蚊 症				
	改 善 (%)	不 変 (%)	悪 化 (%)	未記入	改 善 (%)	不 変 (%)	悪 化 (%)	未記入	改 善 (%)	不 変 (%)	悪 化 (%)	未記入	改 善 (%)	不 変 (%)	悪 化 (%)	未記入	
全 体	61 (81.3)	10 (13.3)	4 (5.3)	1	24 (85.7)	3 (10.7)	1 (3.6)	1	21 (77.8)	3 (11.1)	3 (11.1)	1	13 (81.3)	3 (18.8)	0 (0.0)	0	
自覚症状	目が疲れる	40 (58.0)	28 (40.6)	1 (1.4)	7	19 (73.1)	7 (26.9)	0 (0.0)	3	10 (40.0)	14 (65.2)	1 (4.0)	3	10 (62.5)	6 (37.5)	0 (0.0)	0
	目が痛む	27 (41.5)	38 (58.5)	0 (0.0)	11	13 (52.0)	12 (48.0)	0 (0.0)	4	8 (34.8)	15 (65.2)	0 (0.0)	5	7 (50.0)	7 (50.0)	0 (0.0)	2
	目がかすむ	32 (45.7)	37 (52.9)	1 (1.4)	6	11 (44.0)	14 (56.0)	0 (0.0)	4	11 (40.7)	15 (55.6)	1 (3.7)	1	5 (33.3)	7 (46.7)	0 (0.0)	1
	涙が出る	15 (24.2)	46 (74.2)	1 (1.6)	14	6 (24.0)	19 (76.0)	0 (0.0)	4	3 (13.6)	18 (81.8)	1 (4.5)	6	2 (21.4)	7 (78.6)	0 (0.0)	2
	目が赤くなる	24 (38.7)	37 (59.7)	1 (1.6)	14	11 (42.3)	14 (53.8)	1 (3.8)	3	5 (23.8)	16 (76.2)	0 (0.0)	7	8 (53.3)	7 (46.7)	0 (0.0)	1
	目が乾く	26 (41.3)	37 (59.7)	0 (0.0)	13	8 (33.3)	16 (66.7)	0 (0.0)	5	9 (39.1)	14 (60.9)	0 (0.0)	5	9 (56.3)	7 (43.8)	0 (0.0)	0
	目がちがつく	16 (25.8)	45 (72.6)	1 (1.6)	14	8 (33.3)	16 (66.7)	0 (0.0)	5	3 (13.0)	19 (82.6)	1 (4.3)	5	3 (33.3)	6 (66.7)	0 (0.0)	1
	二重に見える	16 (26.2)	44 (72.1)	1 (1.6)	15	5 (21.7)	18 (78.3)	0 (0.0)	6	6 (26.1)	16 (69.6)	1 (4.3)	5	5 (33.3)	10 (66.7)	0 (0.0)	1
	肩、腰が凝る	22 (32.4)	42 (61.8)	4 (5.9)	8	8 (29.6)	19 (70.4)	0 (0.0)	2	8 (34.8)	12 (52.2)	3 (13.0)	3	4 (25.0)	11 (68.8)	1 (6.3)	0
	イライラする	21 (31.8)	44 (66.7)	1 (1.5)	10	10 (38.5)	16 (61.5)	0 (0.0)	3	8 (33.3)	15 (62.5)	1 (4.2)	4	4 (25.0)	12 (75.0)	0 (0.0)	0
	頭が重い	18 (27.3)	48 (72.7)	0 (0.0)	10	9 (34.6)	17 (65.4)	0 (0.0)	3	6 (25.0)	18 (75.0)	0 (0.0)	4	5 (31.3)	11 (68.8)	0 (0.0)	0
	頭が痛い	13 (20.0)	52 (80.0)	0 (0.0)	11	6 (23.1)	20 (76.9)	0 (0.0)	3	5 (21.7)	18 (78.3)	0 (0.0)	5	4 (25.0)	12 (75.0)	0 (0.0)	0
	眼りの深さ	23 (32.9)	47 (67.1)	0 (0.0)	6	9 (33.3)	18 (66.7)	0 (0.0)	2	8 (33.3)	16 (66.7)	0 (0.0)	4	4 (25.0)	12 (75.0)	0 (0.0)	0

表3 処方薬の影響

摂取の目的(診断名)	効果	全 体				緑 内 障				白 内 障				飛 蚊 症			
		改善 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	未記入	改善 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	未記入	改善 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	未記入	改善 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	未記入
全 体	処方薬有	30 (90.9)	2 (6.1)	1 (3.0)	0	19 (95.0)	5 (5.0)	1 (0.0)	0	9 (81.8)	1 (9.1)	1 (9.1)	0	5 (83.3)	1 (16.7)	1 (0.0)	0
	処方薬無	31 (73.8)	8 (19.0)	3 (7.1)	1	5 (62.5)	2 (25.0)	2 (12.5)	1	12 (75.0)	2 (12.5)	2 (12.5)	1	8 (80.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	0
	計	61 (81.3)	10 (13.3)	4 (5.3)	1	24 (85.7)	7 (10.7)	3 (3.6)	1	21 (77.8)	3 (11.1)	3 (11.1)	1	13 (81.3)	3 (18.8)	0 (0.0)	0
眼 科 検 査 値	視力	処方薬有	4 (22.2)	14 (77.8)	0 (0.0)	15	3 (21.4)	11 (78.6)	0 (0.0)	6 (25.0)	1 (7.5)	3 (0.0)	0 (0.0)	7 (66.7)	2 (33.3)	1 (0.0)	3
		処方薬無	1 (6.7)	14 (93.3)	0 (0.0)	28	0 (0.0)	4 (100.0)	0 (0.0)	5 (0.0)	6 (100.0)	0 (0.0)	11	0 (0.0)	6 (100.0)	0 (0.0)	5
		計	5 (15.2)	28 (84.8)	0 (0.0)	43	3 (16.7)	15 (83.3)	0 (0.0)	11	1 (10.0)	9 (90.0)	0 (0.0)	18	2 (25.0)	6 (75.0)	0 (0.0)
	眼圧	処方薬有	7 (43.8)	9 (56.3)	0 (0.0)	17	7 (46.7)	8 (53.3)	0 (0.0)	5 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (66.7)	2 (33.3)	1 (0.0)	3
		処方薬無	5 (38.5)	7 (53.8)	1 (7.7)	30	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	5 (66.7)	2 (33.3)	0 (0.0)	14	2 (33.3)	4 (66.7)	0 (0.0)	4
		計	12 (41.4)	16 (55.2)	1 (3.4)	47	9 (47.4)	9 (47.4)	1 (5.3)	10	2 (50.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	24	4 (44.4)	5 (55.6)	0 (0.0)
肝機能	処方薬有	0 (0.0)	15 (93.8)	1 (6.3)	17	0 (0.0)	11 (91.7)	1 (8.3)	8 (0.0)	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (25.0)	1 (75.0)	0 (0.0)	2	
	処方薬無	3 (21.4)	10 (71.4)	1 (7.1)	29	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	7 (14.3)	5 (71.4)	1 (14.3)	10	1 (25.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	6	
	計	3 (10.0)	25 (83.3)	2 (6.7)	46	0 (0.0)	13 (92.9)	1 (7.1)	15	1 (9.1)	9 (81.8)	1 (9.1)	17	1 (12.5)	7 (87.5)	0 (0.0)	8
安全性	腎機能	処方薬有	1 (7.7)	12 (92.3)	0 (0.0)	20	1 (9.1)	10 (90.9)	0 (0.0)	9 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	8	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	3
		処方薬無	0 (0.0)	11 (91.7)	1 (8.3)	31	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	8 (0.0)	6 (100.0)	0 (0.0)	11	0 (0.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	6
		計	1 (4.0)	23 (92.0)	1 (4.0)	51	1 (8.3)	11 (91.7)	0 (0.0)	17	0 (0.0)	9 (100.0)	0 (0.0)	19	0 (0.0)	6 (85.7)	1 (14.3)

た。これらの結果は、「鮑の輝」が処方薬無でも目の諸症状に対して改善効果があること、また、その効果は、処方薬の使用とともに高まっていることを示している。

④ 安全性

安全性については、摂取前後の肝機能および腎機能に関する臨床検査値から評価した。肝機能についてはALP上昇(処方薬有1名)とGPT上昇(処方薬無1名)が、また腎機能についてはクレアチニン上昇(処方薬無1名)が認められたが、他の数値に変化がないことから、特に安全性には問題ないものと考えられる。

おわりに

㈱シンギーの健康食品「鮑の輝」摂取による変化についてのアンケート調査の結果、以下のことが明らかとなった。

- ① 「鮑の輝」摂取により、緑内障をはじめとする眼疾患に随伴する目が疲れるなどの自覚症状が改善される。
- ② その自覚症状の改善は、眼科用薬と併用すると高まる。
- ③ 自覚症状の改善に加えて、視力の向上および眼圧の低下と目の機能改善がもたらされる。
- ④ 「鮑の輝」摂取に対して、特に安全上の問題は無い。



リ・ほうじゅ / Li Houzhu

中国・南開大学、東京都立大学で2つの修士号取得

中国四川省農村にて「赤脚医生」として医療活動に従事、留学生として来日、

漢方健康食品の普及のために数々の会社を設立

専門：薬膳、漢方、アンチエイジング

最近の主な研究や活動：漢方素材による機能性食品の開発、研究

論文：蜂の子「ビージソン21」の品質確保(海外学会で発表)



ふくい・きよし / Kiyoshi Fukui

東京工業大学修士課程修了 理学博士、総合化学会社にて有機化合物の製造、医薬品の研究開発に携わる。㈱シンギー技術顧問、現在に至る

専門：有機合成化学

最近の主な研究や活動：食品機能素材の開発

著書：SOD、食品機能素材の開発(太田明一編)、シーエムシー出版、東京、p242-247 (2006)